

# さがみロボット産業特区（仮称）の概要

## ○ 定性的な目標

- 生活支援ロボットの実用化を通じた地域の安全・安心の実現  
生活支援ロボットの実用化や普及を促進していくことで、人口減少、超高齢化を見据えた介護負担などの軽減を図る。  
同時に、生活支援ロボットの実用化を担う企業の集積を進め、開発、実証環境の充実を図りつつ、地域経済の活性化を促進する。  
これらを一体的に推進することで、県民生活における様々な負担の同時解決、県民生活の安全・安心の確保、地域社会の活性化を実現する。

## ○ 対象エリア

基本的な範囲…「さがみ縦貫道路沿線等地域」  
(9市2町…相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町及び愛川町)

この中で、実証実験を行う拠点となる企業・組織を包含した地域（クラスター）を設定する。

## ○ 政策課題

- 少子高齢化の進行により増加する様々なニーズへの対応

少子高齢化の進行により、高齢者層からの支援ニーズが増加するとともに、自力での行動が制約される高齢者へのサポート体制の充実が大きな課題となっている。

- 逼迫する自然災害への対応

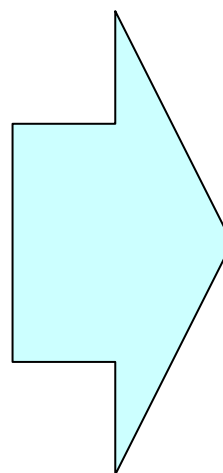
大規模自然災害発生後、最も緊急な課題は人命救助であり、倒壊家屋の内部調査、救出など、マンパワーの投入だけでは解決が困難な課題に対して、新たな解決策を早急に講じる必要がある。

## ○ 解決策

- 研究開発・実証実験の促進による生活支援ロボットの実用化

政策課題の解決については、ロボットを活用することが有効であるが、一部の製品を除いて広く実用化されていないことから、研究開発・実証実験を促進することで、関連製品の市場投入や普及を進め、政策課題の解決に結びつけていく。

併せて、ロボットは様々な要素技術の集合体であることから、関連する産業の幅広い集積により実用化を促進し、実証環境を整える。



地域のポテンシャルを活用し、裾野の広いロボット産業により、課題解決をサポート

## ○ さがみ縦貫道路沿線等地域について

※さがみ縦貫道路沿線等地域…9市2町

<さがみ縦貫道路沿線等地域のポテンシャル>

### ○ 神奈川県内経済指標から見た同地域の特性

この地域は人口・事業所数とも、県内の約2.5割を占めているのに対して…

- 研究開発人口は、県全体の約5割
- 製造品出荷額は、県全体の約3割を占める

### ○ 同地域における豊富な地域資源の存在

- 研究開発機関等…産業技術センター、神奈川工科大学、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、ロボット関連企業 など
- 実証実験関連施設…神奈川リハビリテーションセンター、県総合防災センター など

### ○ ポテンシャルが高まる今後の取組

- さがみ縦貫道路、新東名高速、厚木秦野道路の整備促進
- リニア県内駅、新幹線新駅の設置、相模線複線化の促進

## ○ ロボット関連産業について

※ロボット…①感知、②判断、③駆動の要素を持つ機械システム（経産省定義）

<ロボット関連産業の特徴>

- 対象範囲が広範 → 幅広い企業の立地・集積が可能  
基礎となる技術・部品が多種…応用による製品も多彩
- 小ロット生産も有効 → 中小企業向きの生産特性  
介護・福祉ロボットなど、利用者の個別ニーズに合わせた製品づくりが効果的
- 既存資源の存在 → 取組みの優位性  
2001年からロボット振興施策を展開…これまで県で蓄積したロボット関連産業振興の実績や技術支援のノウハウ等を生かした効果的な取組みが可能

[県域でのロボット振興の取組み]

- 実証実験、介護ロボット普及モデル事業の拡充
- ロボット等新製品開拓事業の展開
- 商談・展示会の出展規模の拡大